

モデルルートについて①(瀬戸内しまなみ海道)

○瀬戸内海の島々が織りなす絶景を望む、日本初の海峽を横断する自転車道として、官民一体となり、サイクリングの利用環境向上の取り組みを継続的に推進し、更なるブランド力の向上を図る

快適な自転車走行環境の構築

○自転車走行環境整備(ルートの明示・案内表示)

- ・ 車道の路側に推奨ルートを明示するブルーラインと距離標の路面標示を整備
- ・ 料金所で一旦停止する必要がなくなり、利用環境が格段に向上



ブルーライン・距離標設置例



ルート表示設置例

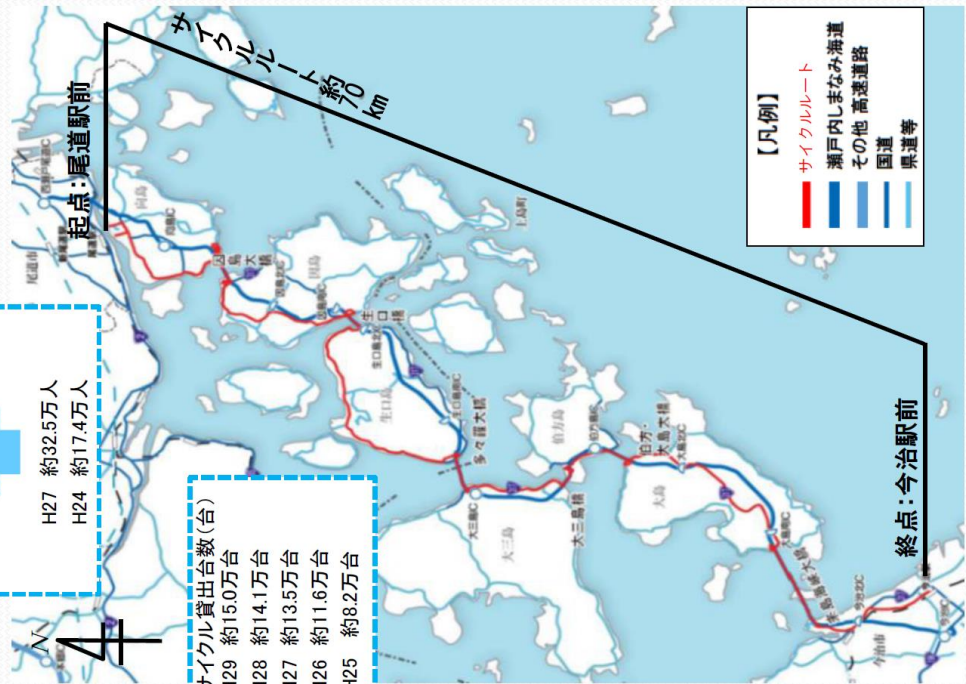


しまなみ海道サイクリングロード利用者数(人)
H32(目標) 約35万人 (H28時点)

H27 約32.5万人
H24 約17.4万人

レンタサイクル貸出台数(台)

H29 約15.0万台
H28 約14.1万台
H27 約13.5万台
H26 約11.6万台
H25 約8.2万台



【凡例】

- サイクルルート
- 瀬戸内しまなみ海道
- その他 高速道路
- 国道
- 県道等

受け入れ環境向上のための取り組み

- 地元との協働による休憩スポット・修理ポイントの整備
- 自転車を直接持ち込めるサイクルバス、サイクルレインの運行
- 全国初のサイクルリスト専用ホテルがオープン(H26.6)
- 民間企業の協賛によるセーフティーマット・広告看板の設置
- 国際サイクリング大会の開催(2014・2016・2018)
- 米国CNN「世界7大サイクリングルート」に選定(H26.5)



サイクルオアシス(休憩スポット約150箇所H30.8現在)

ONOMICHI UZ (サイクルリスト専用ホテル)

企業協賛によるセーフティーマット設置等(45社協賛)

<サイクリングしまなみ>
平成30年参加者:7,215人
(うち海外:26の国と地域から701人)



CNN「世界7大サイクリングルート」

モデルルートについて②(四国一周1,000kmルート)

○豊かな自然や食に恵まれ、遍路文化が根付く四国の新たな魅力として、「サイクリングアライド四国」を実現するため、官民一体となり、サイクリングの利用環境向上の取組みを継続的に推進し、ブランド力の向上を図る

快適な自転車走行環境の構築

○自転車走行環境整備(路面案内ピクト)(H31.12)

- ・ 車道の路側に、5km間隔で四国一周1,000kmルートと目的地までの距離を明示する路面案内ピクトを整備
- ・ 四国第1号として、道後温泉前から国道196号線まで、各道路管理者が連携してピクトを整備



路面案内ピクト



ピクト整備セレモニー

H30.12

受け入れ環境向上やプロモーション活動等

○四国知事会における緊急アピール(H29.6)

- ・ 4県知事が連名で「サイクリングアライド四国の実現」に向けて一体となって取り組むことを決議

○4県が連携した台湾訪問団の受け入れ(H29.7)

○サイクリングアライド四国推進協議会の設置(H29.10)

- ・ 四国4県、四国地方整備局、四国ツーリズム創造機構で構成

○ポータルサイト・SNSによる情報発信(H29.10～)

- ・ サイクリストのニーズに応じたオンライン上のポータルサイト
- ・ 海外サイクリストへの情報発信強化のため、多言語化(英・中・韓)
- ・ Instagram、Twitter、Facebookの3つのSNSを活用して、情報を拡散

○チャレンジ1,000kmプロジェクトを開始(H29.11～)

- ・ 登録制(公式オリジナルジャージ交付)により四国一周サイクリストを可視化し、完走証や記念メダルの交付によりサイクリストの達成感を高め、認知度を向上

エントリー数: 1,203名
(うち完走者253名)
【H31.1.31時点】



【四国一周1,000kmルート】

- ・ 専門家監修のもと、実走調査等の検証を踏まえ、安全性やサイクリスト目線に配慮したルート
- ・ ホテルや立ち寄りスポット等も調査して設定



四国一周したという証明は、大人になったという証明だ。
若者応援プロジェクトポスター

- 若者応援プロジェクトの実施(H30.3、H30.8～9)
 - ・ 大人になる第一歩として、四国一周サイクリングを定着化(大学生等による一周チャレンジ及び若者自縁によるSNSを活用した情報発信)
- 四国一周1,000kmルートマップの制作(H30.3)
- おもてなしサポーター制度の開始(H31.10～)
 - ・ 四国一周サイクリストが「あると嬉しい」と思えるサービスを提供しただけの飲食店、宿泊施設等を「おもてなしサポーター」として認定
- 四国4県共同PR「サイクルモード幕張」(H31.11)



四国一周1,000kmルートマップ

モデルルートについて③(愛媛マルゴト自転車道 28コース)

- 瀬戸内しまなみ海道を中心に全県域を誰もが自転車で親しみ、誰もが自転車を楽しめる「愛媛マルゴト自転車道」を展開し、愛媛県がサイクリングパラダイスになることを目指す。
- 愛媛県下20市町で、中・上級者向けに11コース、ファミリー向けに17コースのサイクリングコースを設定するほか、次の環境整備を実施。

快適な自転車走行環境の構築

- 案内標識等(距離標・案内サイン)を整備
- 勾配標識・注意喚起標識及びピクトを整備
- ブルーラインを整備
- 『中・上級者向けコース』(17コース)には、全線(連続)設置
- 『ファミリー向けコース』(17コース)には、主要な交差点及び1km間隔に設置
- 駐輪施設を設置
- トンネル坑口にドライバーへの注意喚起看板を設置
- トンネル内の走行の安全性を高めるため、内装板や高輝度区画線を設置
- 歩道幅員を再配分し、路肩を1.0m以上に拡幅
- 新規整備箇所で、1.0m以上の広幅路肩を設置



トンネル坑口のドライバーへの注意喚起看板例

※28コースのルートは、
次ページ以降に掲載

受入環境向上のための取組み

- 愛媛マルゴト自転車道サービスサイト・アプリを開発
- 全県版サイクリングマップを作成
- 自転車を直接持ち込めるサイクルバス、サイクルトレインの運行
- 重点的・広域的に整備を行う重点戦略エリアを設定



安全で快適なサイクリングロードを目指します。

自転車新文化
「愛媛マルゴト自転車道」
～サイクリングは「健康」と
「生きがい」と「気晴らし」を
与えてくれる。～



愛媛マルゴト自転車道サービスサイト・アプリ
疾走マップ
疾走マップ
(全県版サイクリングマップ)

愛媛マルゴト自転車道 28コースのルート

愛媛マルゴト 自転車道MAP

中・上級者向け
サイクリングコース **11**コース

ファミリー向け
サイクリングコース **17**コース



愛媛マルゴト自転車道 参加型サイクリングサイト

●マルゴト自転車道28コース(中・上級者向け)11コース
 ●ファミリー向け自転車道17コース
 ●各コースのルートや詳細情報は、ホームページに詳しく掲載されています。

<https://ehime-cycling.jp/>

スマートフォンアプリ「LoveEhime」もご利用ください。

自転車安全利用のルールを守りましょう

自転車では「自転車は、車の左側に原則に通行する車両」が認定されています。

- 1 自転車は、車の左側に原則**
「シェアサイクル」の精神で、車の左側に安全に通行します。
- 2 歩道は歩行者優先、自転車は歩行者優先**
歩道を通行するときは、車道左側に位置させている歩道を通行します。
- 3 安全ルールを守る**
 - ◆飲酒運転(二人乗り)厳禁
 - ◆交差点での信号待ち時一時停止(安全確認)
 - ◆夜間はライト点灯

安全のためヘルメットをかぶろう!
フルライント
 サイクリングのヘルメットは、必ず着用してください。ヘルメットは、走行の安全に大きく貢献します。





